

賀茂地域局の役割

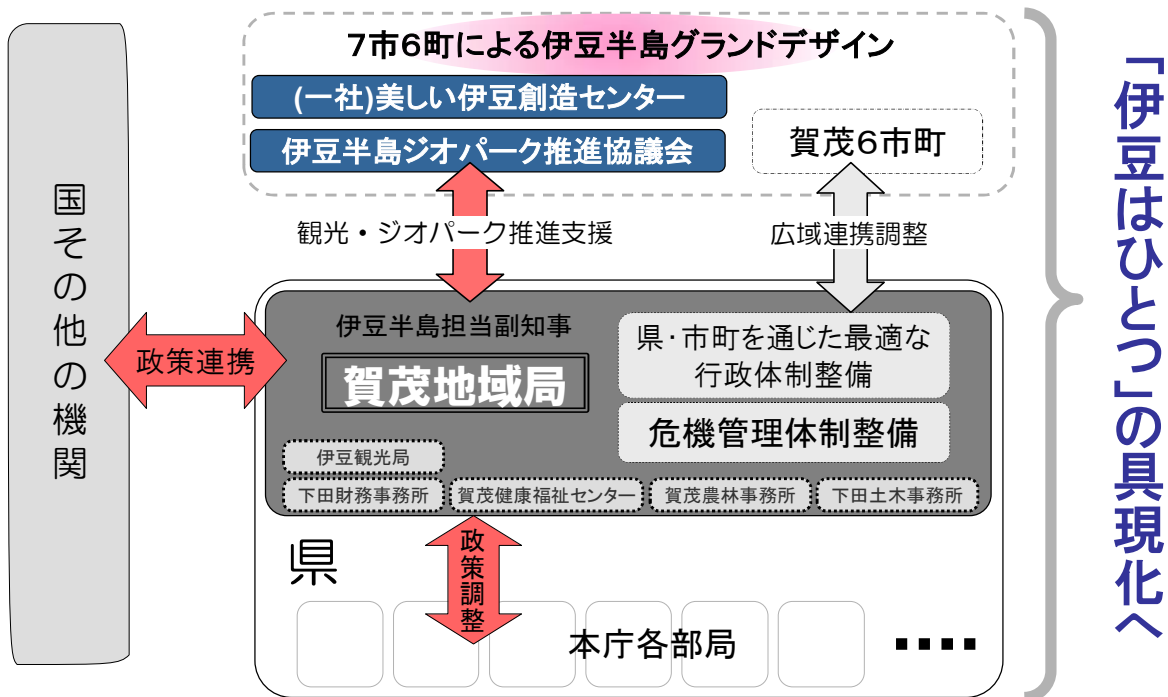
～成果とこれからの課題～

令和元年6月
静岡県賀茂地域局

1



賀茂地域局の体制



○地域課題の拾い上げ



○市町の特性に応じた、きめ細かな支援



○国、県、市町の行政機関に横串を通す

○地域課題に関係機関と連携して対応

賀茂地域広域連携会議

(賀茂地域6市町長＋静岡県副知事)

幹事会

専門部会

(1) 行政分野の連携～行政体制整備

9テーマ

(2) 官民・民民の連携

5テーマ



H27年度から

○連携会議
21回開催

○幹事会
26回開催

○各専門部会
多数開催



専門部会の開催状況

行政分野の連携		回数
1	消費生活センターの共同設置	4
2	税の徴収事務の共同処理	11
3	監査事務の共同化	4
4	災害時における人的・技術的支援体制の構築	2
5	地籍調査の共同実施	10
6	技術的・専門的知識を要する事務の共同処理(技術職員の共同利用)	3
7	教育委員会の共同設置	21
8	地域包括ケアシステムの構築・運用	26
9	公共施設の長寿命化、共同活用・管理(水道事業)	11
官民・民民の連携		回数
10	伊豆半島クリーン作戦	8
11	伊豆半島食の祭典	8
12	伊豆半島周遊ルートの開発	8
13	歴史的建造物の保存・活用における共同の景観まちづくり	8
14	若者定住	14



テーマごとの市町の評価

行政分野の連携	下田	東伊豆	河津	南伊豆	松崎	西伊豆	今後の展開
1 消費生活センター	A○	A○	A○	A○	A○	B○	○
2 税の徴収事務	A○	A○	A△	A△	A△	A△	△
3 監査事務	A○	B○	B○	B○	C○	C○	○
4 災害時人的・技術的支援	D○	C◎	A◎	B○	B◎	A○	◎
5 地籍調査の共同実施	A◎	A◎	A○	A○	B○	B○	○
6 技術職員の共同利用	D△	C◎	C○	A○	D○	B○	○
7 教育委員会の共同設置	B◎	B○	B○	A○	B○	C△	○
8 地域包括ケアシステム	B○	B○	B○	B○	A○	B○	○
9 公共施設の長寿命化	A○	B○	C△	B○	A○	C○	○

※行政分野の連携に関する評価 (A~D)、今後の展開(◎・○・△・×)

これからの課題

○今後の取組の方向性(第21回賀茂地域広域連携会議)

分野	各市町の代表的な意見
人口減少と財政運営	共通の電算システムの導入検討
子育て・教育	広域での学校再編
医療・介護	介護予防に注力
公共施設・道路	長寿命化の推進 エリアごとの施設の在り方
し尿処理、生活排水	連絡会による検討開始
公共交通機関	MaaSなどICTの活用
空間管理・防災	集落支援員制度の拡充

「伊豆はひとつ」に向かって

○合理性(rationality)

データ分析に基づく課題を広域連携会議で議論
→議論の土俵に乗せる



○緊急性(tention)

市町長がやらざるを得ない状況
→「しょうがない。やるか。」という気にさせる

○熱意(passion)

市町長自らが実施しようという環境
→「やろう!」という気にさせる



「伊豆はひとつ」 まずは賀茂から